

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 村上 雅人

『原子力発電所のセキュリティ対策（サイバー及び核セキュリティ）調査団』 派遣に伴うご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に伴い、重要社会インフラに対するサイバー攻撃が行われるとともに、原子力発電所が有事の際に「盾」となることが現実化するなど、世界的に原発のセキュリティ確保の重要性が再認識され、その適切な対応が喫緊の課題となっています。

こうした原子力発電所をめぐる環境の変化を踏まえ、日本技術者連盟ではこれまで7回に渡り、米国・カナダ・西欧・東欧などに調査団を派遣し、大きな成果を挙げています。今回はオーストリアとハンガリー、チェコを訪問して、調査を行います。

ご参加頂ける場合は、以下のデータを一般社団法人日本技術者連盟宛 E-mail (gyomu1@jef-site.or.jp) にてお送りください。すぐに事務局よりご連絡申し上げます。

尚、お申し込み締切は、**2025年12月15日（月）**と致します。

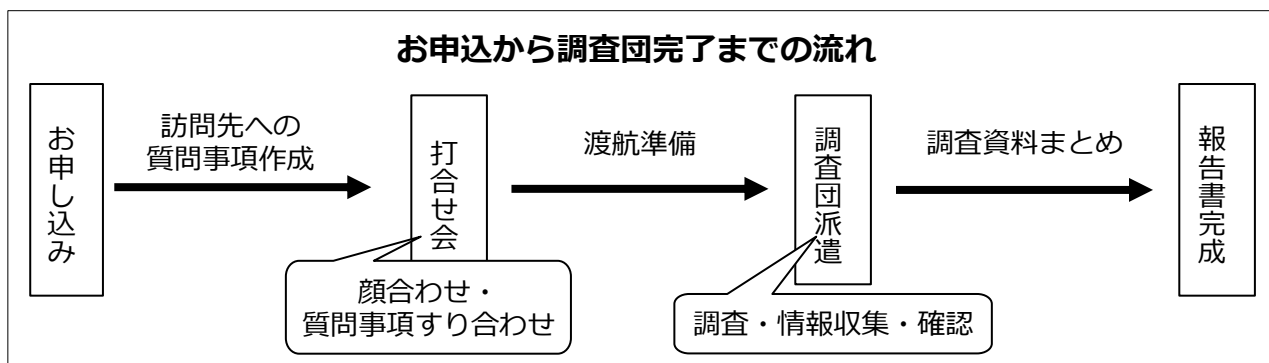
1. 参加申込書（本案内最終ページ。エクセルデータで提出されたい方はお申し出ください）
2. 参加者の名刺（和文・英文共）
3. パスポートの顔写真部分のページのカラーコピー
（まだパスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせください。パスポートは帰国日より90日以上残存有効期間のあるもの）
4. メンバーリスト作成用 顔写真のデータ（顔がはっきりとわかるもの。パスポート取得時の写真でも可。）

皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

※お申込みについて、稟議の都合上、締切日を過ぎる場合や参加者のご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが事務局までお問い合わせ下さい。

お申込から調査団完了までの流れ



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX: 03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>URL: <http://www.wkx21c.org>

『原子力発電所のセキュリティ対策 (サイバー及び核セキュリティ) 調査団』

参加要項

1. テーマ : 『原子力発電所のセキュリティ対策 (サイバー及び核セキュリティ) 調査団』

2. 期間 : 2026年2月22日(日)～3月1日(日) 8日間

3. 主催 : 一般社団法人 日本技術者連盟 (J E F)

4. 団 長 : 内藤 香 氏

公益財団法人核物質管理センター 元理事長
核物質管理学会 (INMM) フェロー
核物質管理学会日本支部 (INMMJ) 元副会長
一般社団法人日本技術者連盟 理事



■ 略歴 ■

1971年3月 東京大学大学院修士課程 (原子力工学専攻) 修了)

1971年4月 科学技術庁入庁。

以来約30年間、主として原子力安全、保障措置、核物質防護等原子力規制業務に従事。

1988～92年2回にわたりIAEA (国際原子力機関) に勤務し、保障措置の分野で活躍。
(保障措置局開発・技術支援部長)。

1997～00年、01～06年

IAEA保障措置常設諮問委員会 (SAGSI) 委員を歴任。

核セキュリティ (核物質防護) 分野では、原子力委員会原子力防護部会長として我が国の核セキュリティ確立方策をとりまとめたほか、原子力規制委員会核セキュリティ検討会メンバー及びAdSec (IAEA核セキュリティ諮問委員会) 委員を歴任。

INMM (核物質管理学会) フェロー (2012年～2022年)、名誉フェロー (2022年～)、同日本支部副会長 (2004年～2014年)。

2003年4月より (財) 核物質管理センター専務理事

2012年4月 公益財団法人への移行に伴い理事長就任。(2014年6月退任)

2018年9月 一般社団法人日本技術者連盟 理事就任。

5. 調査項目 :

下の事項を参照しつつ、訪問機関毎に、団員の関心事項をもとに質問票を作成し、調査します。

■ サイバー・セキュリティ

内部脅威対策、サプライチェーン対策、インシデント対応/訓練、サイバー・セキュリティ文化の醸成・評価など

■ 核セキュリティ

内部脅威対策、緊急時対応/訓練、AI搭載の周辺監視システムの利用、核セキュリティシミュレーターの利用、核セキュリティ文化の醸成・評価、ドローン対策、オフサイト攻撃対策など

6. 予定訪問先及び概要：

下記より3～4か所訪問予定。訪問先は都合により変更になる場合もございますので、予めご了承下さい。

■ オーストリア、ウィーン (Vienna, Austria) World Institute

World Institute for Nuclear Security (WINS 世界核セキュリティ協会)

・所在地：オーストリア、ウィーン Landstrasser Hauptstrasse 1/18, 1030 Vienna, Austria

・特色：核セキュリティ分野のベストプラクティスの指針についての普及啓蒙活動を行うNPO

・<https://www.wins.org/>

■ ハンガリー (Hungary)

1. Paks Nuclear Power Plant (パクシュ原子力発電所)

所在地：Paks市（ドナウ川沿い）Paks, 7030 ハンガリー

運営者：MVM Paks Ltd.

VVER-440（加圧水型炉）4基、（各基出力：1444MW t /合計出力2000Mwe）

特色：ハンガリー唯一の原子力発電所。運転延長・新設（Paks II）にあたりAI活用検討中。

<https://atomeromu.mvm.hu/en>

2. Hungarian Atomic Energy Authority (HAEA ハンガリー原子力規制庁)

所在地：ブダペストBudapest, Fényes Adolf u. 4, 1036

特色：原子力利用・放射線利用に係る規制当局。AIを含む安全解析支援ツール導入や、スマートレギュレーション政策の推進に関心。

<http://www.oah.hu/web/v3/haeaportal.nsf/web?openagent>

■ チェコ共和国 (Czech Republic)

1. Dukovany Nuclear Power Plant (ドゥコヴァニ原子力発電所)

所在地：Třebíč地区、南モラヴィア州

運営者：ČEZ Group

VVER-440（加圧水型炉）4基、（各基出力：1444MW t /合計出力2040Mwe）

特色：老朽化対策にAI技術の活用が進行。保守予知やリスク評価の高度化にAIを検討。

<https://www.cez.cz/en/energy-generation/nuclear-power-plants/dukovany>

2. State Office for Nuclear Safety (SÚJB 原子力安全庁)

所在地：Senovážné náměstí 9, 110 00 Prague 1, プラハ

・原子力利用・放射線利用に係る安全規制機関（放射線監視、防災対策、保障措置も含む）

<https://sujb.gov.cz/en/>

7. 募集人員：10名

8. 参加費：¥ 1, 900, 000－（予定・税別 お申込金50万円（消費税別）を含む）

9. ホテル：一人部屋

10. 通訳・プロジェクトマネージャー：現地同行（参加5名以上の場合）

11. 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構

東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950

12. 運営実施：観光庁長官登録旅行業者

13. 申込方法：参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピー、名刺のコピー（和文・英文共）、参加申込書、顔写真データを、**2025年12月15日（月）までに**、E-mail (gyomu1@jef-site.or.jp) でお送り下さい。すぐに担当者よりご連絡申し上げます。

※稟議の都合上、お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが、日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ下さい。

※打合せ会の日程につきましては、改めてご案内申し上げます。

14. 代金支払：総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。

期日までにお振込みくださいますよう、お願い申し上げます。

『原子力発電所のセキュリティ対策（サイバー及び核セキュリティ）調査団』

日程表



2026年2月22日（日）～3月1日（日） 8日間						
日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	2/22 （日）	羽田発 ドバイ着 ドバイ発 ウィーン着	EK313 EK127	0:05 6:55 8:55 11:25	日本→ウィーン 羽田より出発。ドバイ経由（乗換） ウィーン到着・ホテルチェックイン ウィーン泊	機内食
2	2/23 （月）	ウィーン発 ブタペスト着	OS635	16:50 17:45	午前：【WINS訪問】（セキュリティ関係の活動状況・ 国際的動向等調査（セキュリティ分野でのAI利用を含む） 夕刻：ブタペストへ移動 ブタペスト泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
3	2/24 （火）		専用車		午前：Paks原子力発電所へ移動（車で片道約2時間） 午後：【Paks原子力発電所視察】 セキュリティ対策の現状等調査（セキュリティ分野でのAI 利用を含む） ブダペスト泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
4	2/25 （水）	ブタペスト発 ウィーン着 ウィーン発 プラハ着	OS 636 OS 649	18:20 19:15 21:45 22:40	午前：【HAEA（ハンガリー原子力庁）訪問】 セキュリティ関係の規制政策等調査（セキュリティ分野での AI利用を含む） 夕刻：プラハ行き（ウィーン経由）フライトに搭乗 プラハ泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
5	2/26 （木）				【午前：【SUJB（チェコ原子力安全局）訪問】 セキュリティ関係の規制政策等調査（セキュリティ分野での AI利用を含む）） プラハ泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
6	2/27 （金）		専用車		午前：Dukovany原発へ移動（片道2.5時間／専用車または チャーターバス） 午後：【Dukovany原発視察視察】 セキュリティ対策の現状等調査（セキュリティ分野でのAI 利用を含む） プラハ泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
7	2/28 （土）	プラハ発 ドバイ着	EK140	14:45 23:40	午前：報告書整理 午後：プラハ発、日本行きフライト搭乗。ドバイ経由 （乗換）	朝 ○ 昼 ○ 機内食
8	3/1 （日）	ドバイ発 成田着	EK318	02:55 17:20	日本帰着	

※上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。

EK: エミレーツ航空

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- 団体エコノミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 会議参加費及び施設等見学費
- 団長・通訳・プロジェクトマネージャー同行費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

お客様のご都合によるキャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後、旅行開始日の前日から起算して31日目にあたる日までの取消料：お申込金 50万円（消費税別）、及び航空券・宿泊料金などのキャンセル料の実費（旅行社等支払分）
- 旅行開始日の前日から起算して30日目に当たる日以降から旅行開始3日前までの取消料：参加費の50%、及び企画手配料 10万円
- 旅行開始日の前々日以降の取消料：参加費全額

詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

その他

- ◆ 参加費は、2025年3月末日時点の運賃及び5名以上の参加者数に準拠したものです。ご出発前に、参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用や参加条件が変更になる可能性もございますので予めご了承下さい。

参加における注意事項

■ 海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。

所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- 飛行機が遅延した際の費用保障
- 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先
- 補償限度額（入国時に、補償額への条件を設けた海外旅行保険加入を義務付けている国がございます）

■ 渡航前準備について

訪問先の入国時に、査証が必要となる場合がございます。

査証取得のお手続き、費用のお支払い等については、ご参加者様ご自身にてお願い致します。

詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	村上 雅人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 監事、芝浦工業大学 元 学長、工学博士
顧問	野々内 隆	元 通商産業省資源エネルギー庁 長官元一般財団法人経済産業調査会 理事長
	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	松井 一秋	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
理事	井戸田 勲	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人滋慶学園 総長 Ph.D.
	内藤 香	元 公益財団法人核物質管理センター理事長
	林道 寛	元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)
総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

